

## 知事と区市町村長との意見交換会(足立区)

令和2年10月22日(木)

15時30分～15時50分

○**行政部長** それでは早速ですが、意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事からお願いをいたします。

○**知事** 近藤区長、こんにちは。今日はオンラインで、このような形での意見交換をさせていただきます。

何よりもコロナウイルス、連日連夜いろいろと現場でもご苦労されていることかと思えます。そういう中でウィズコロナ、つまり感染の拡大の防止と、そして経済活動を両立させるという中において、手探りながら様々取り組みを進めているところでもあります。

この難局に立ち向かっていくためにも、都政としてはまず都政自ら構造改革も行いながら、新しい日常、そしてサステナブル・リカバリー、元に戻るのではなくて、持続可能な回復を行うという方向性で、長期の戦略も描いているところでございます。

今日は現場からのご要望や、またこういったことをビジョンとして掲げている等、オンラインではございますが、直接伺えればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○**行政部長** それでは近藤区長、ご発言をお願いいたします。

○**足立区長** まず冒頭、お礼を申し上げなければなりません。昨年、前回の時に、東京都の訓練にぜひ自治体も参加をさせていただきたいということをご要望させていただきました。その後、すぐお声を掛けていただきまして、足立区も東京都の訓練に呼んでいただいたり、参加をさせていただいて、本当に内容のある経験をさせていただきました。またこれからもぜひ続けていただきますように、よろしくお祈りを申し上げます。

そしてコロナということで、お陰様で今のところ直撃の台風は来ておりませんが、現場ではやはりコロナの中で、もし災害起こって、避難所を開設するということになると、一定程度のディスタンスを取らなければならない。その中で、これまでの避難所の箇所数だけだと到底足りないということに、頭を悩ませてまいりました。

そこでぜひお願いしたいのは、都立高校を避難所として開設するための、具体的なルールをそれぞれの自治体と結んでいただけないかということ。それが今日の一つ目のお願いでございます。

避難所となる都立高校施設一覧ということで、知事にも資料を前もってお渡ししているようでございます。

足立区、多数ございますけれども、お陰様でご理解をいただきながら、区の方から備蓄を設置させていただいている学校もございます。実際に台風19号の時には、知事のご英断で、こうした東京都の都立高校も避難所として開設をいただきました。

ただ、あの時も実際にギリギリになってご判断をいただいたということもございまして、日頃の訓練が全くできておりません。どの部屋にどの方に入っていただくのかですとか、

ここは立ち入り禁止だというような、前もっての調整が全くできておりませんので、ぜひ具体的なルールをとということで、まず一つは、敷地内に区の方の備蓄がされている学校が今のところ2校だけでございますので、全ての都立高校、優先的に開設したい都立高校については、まず一定程度の区民の方の避難した方を対象とする備蓄品を置かせていただけないかということ。

そして台風19号の時には、避難所開設が休日でございます。実際に私どもの職員も都立高校の方へ派遣をさせていただいて、避難所を開設するわけでございますが、鍵は誰が開けるのかですとか、様々な問題もございますので、できれば高校の先生に役割を割り振っていただいて、いざ避難所開設という時には実際に足立区の職員と一緒に開設をしていただけるような、担当制にさせていただけないかということが2点目。

そして今申し上げた、休日の際に学校の門を開けたり、中に入ったりするルールといったものも決めていただけないかということでございます。

中には非常に協力的にご相談に乗っていただく校長先生も多いわけでございますが、異動になられると、そこからまた、一からやり直しというようなこともございます。

俗人的な話ではなくて、基本的な東京都のルールをまずつくっていただいて、そこから学校ごとのローカルルールのような形で積み上げていけば、私どもの持っている小学校、中学校プラス都立高校ということで、かなりの避難者の方の受け入れが可能になるというふうに考えております。ぜひこのルールづくりと、実際に訓練を実施できるような形で、ご協力をいただければというふうに考えております。これがまず第1点でございます。

もう1点でございますけれども、ご承知のとおり、国の方がGIGAスクール構想を打ち出しまして、本年度中に児童生徒一人に当たり1台のタブレットを配備するというので、23区横並びでそうした体制の予算を今組んでいるところでございます。

これについては配備したものの、更新にかなりの経費が継続して掛かっていくということでございますので、区長会でも導入ばかりでなく、更新についてもきちっと予算立てをしていただきたいということを国に要望してございますので、東京都を通じてもそうしたご要望をぜひよろしくお願いを申し上げたいと思います。

これまでは各校40台から80台程度のタブレットで授業をしておりましてけれども、1人1台ということになると、全くステージが変わってくる。それぞれの教師、教職員やお子さん達に求められるスキル、そういったものも各段にアップをしていくということかと思っております。

先日も都立高校の数学の授業の様子がニュースで流れておりまして、非常に高度なタブレットを使った授業風景が展開されていたわけでございます。

足立区でも中学校から都立高校に入学されるお子さんが圧倒的に多いということでございますので、少なくとも区立の小学校、中学校を通じて、どのようなスキルや、どのようなタブレットを使った考え方というものを身に付けておくべきなのかというような都立高校へ上がるための小・中・高の一体的なこのGIGAスクール構想に対しましての東京都教育委員会のお考えですとか、具体的な指導といったものをお示しいただくと、それぞれの自

治体でそれに向かって、では自分たちは個性を活かしてどのような支援をしていけばいいのか、授業をしていけばいいのかというような目安が立ってくるかというふうに思います。

支援員の充実も非常に重要でございまして、ただ、なかなかレベルが揃わないという悩みもございます。そうした指針を出すということと、人材の育成ということにつきましても、ぜひこの首都東京という、日本の顔である東京都が GIGA スクール構想に対してどうか、これからのタブレットを使った ICT 環境の子供達をどのように育て上げていくのかといったところについて、知事、東京都教育委員会の、これはというような発信をぜひお願いしたいなというふうに思っております。

今までのところは、各自治体でそれぞれいろいろ試行錯誤をしているわけですので、横の展開ももちろん 23 区で図っていく必要もあるかと思っておりますけれども、まず東京都の方からリーダーシップを示していただいて、向かうべき方向性のようなものをお示しいただくと、非常にありがたいというふうに考えております。

私からこの 2 点、今日は申し上げたいと思います。ありがとうございました。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは知事からお願いをいたします。

○知事 昨年の台風 19 号、その最中に近藤区長から直接私の方にご連絡いただいて、都立高校を開けてくださいというご要望を伺った、昨日のこのように覚えております。

そしてまた、特に今はコロナとダブルの災害ということでございますので、冒頭おっしゃいましたように、ソーシャルディスタンスを取ることによって、床面積も広くないといけないというようなことも加わって、どうするかが問われていることだと思っております。

都立施設を風水害時の避難先として活用できるように、これは基本的に前へ進めております。

それから避難所指定を受けている都立学校では、発災時の避難所の運営、円滑になされますように、災害時の連絡体制、鍵が誰持っているんだとか、今、具体的なお話もありましたけれども、それから施設整備の使用方法や、物資の運搬方法等、それぞれ協議を行わせていただいているところであります。

実際に避難先として活用する時には、それぞれ施設には特性がありますから、これらを踏まえた調整が必要になるわけでございまして、できる限り区の要望に応えられるように、引き続き連携を進めてまいりたいと考えています。

また、東京地方へ大型台風の接近が見込まれる場合には、今回もそうでありましたけれども、連携強化を図るために、いわゆるリエゾンを前もって送るという形で、情報連絡要員を必要に応じて、都内全ての自治体の方に派遣する体制も構築をしたところであります。

情報をよく共有しながら、また、いろいろな災害に対してのプラン A、プラン B、プラン C 等を持ちながら、それをおっしゃるように、その度に、人が代わる度に改めて連携をつくり直すのではなくて、システムとして整備をしているところでございますので、ぜひご活用いただいて、区民の安心、都民の安心に繋げていきたいと考えております。

先日も東京の方にとというか、首都圏に向かって台風がまいりましたけれども、最近の台風はもう本当によく読めないですね。どっちに向かっているのか、結局後戻りして太平洋

側の方に消えていったり。それほど自然災害っていうのは分からない、いつ何が起こってもおかしくないというようなことでございますので、危機管理の観点からも、いろんなケースを考えながら、また、現場のお声をしっかり伺いながら、例えば連携した訓練等を重ねてまいりたい、災害対応をしっかり行っていきたいと考えております。

それからもう一つが、同じ学校ではありますけれどもその中身のお話で、GIGA スクール等についてのご指摘がありました。

現在、小・中学校では1人1台の端末等、ICT 環境の整備が急速に進んでいるわけですが、今後は本格的なその実際の活用をどうするかということが課題になっているわけでありまして。

いち早く効果、検証を含めて活用の促進に取り組んでいただいているということは、都の方にもそれらをまた教えていただくことは情報共有に繋がり、また、教育の現場の ICT 化を有効に進める手立てだと考えております。

都でも小・中学校との連携も見据えまして、都立学校での ICT 環境の整備、さらに加速させていく考えでありますし、また、何よりも教える側ですね、教員の皆さんのスキルの向上に向けて、実践的な研修、そして ICT を効果的に活用した事例の配信等も実施をしておりますので、ここも情報とそれからノウハウの共有を図っていきたいと考えております。

それから1人1台体制ではありますけれども、その後、端末の更新費用がどうなるのかという、この点については、それぞれの区長さんからも同じ内容のご要望を伺っているところでありますが、これについては国へ十分な財政支援を行うようにということで、要望させていただいております。

それから ICT の活用を含む、今後の東京の教育の在り方、これも問われているところでございますので、その方法、在り方をお示しすべく総合教育会議の場で教育委員会の方とも議論をいたしております。

先進的な区市町村の取り組み事例等も参考にさせていただきながら、学校における ICT 活用の充実に向けて、支援をしてみたいと考えております。

先日も渋谷区の長谷部区長が非常に先進的に ICT 教育でも取り組んでおられて、それぞれ重ねておられるいろいろなノウハウをぜひ有効に活用、また共有できればというふうに考えております。

また、この点については宮坂副知事もおられますし、今後のいわゆるデジタル化については、ともに連携しながら進めていくのが最も効果的かと考えておりますので、今後ともその点でもよろしく願いをいたします。私から以上2点でございます。

**○行政部長** それでは今のお話を受けて、近藤区長からいかがでしょうか。

**○足立区長** ぜひ前段の避難所につきましては、それぞれ学校と自治体、環境が違いますので、学校自体のですね。個別の調整ができるように指示を出していただくと、私どもお話し合いしやすくなりますので、ぜひ教育委員会の方からも指示をよろしく願いしたいと思っております。

後段の方でございますけれど、総合教育会議の中で方針をとということでございました。これから会議の方向性も見ながら、また、23区の効果的な取り組みを、私どもやはり共有しながら、少しでもいい方向へということでございます。ぜひそういったところにも、調整役としてお力をお貸しいただければというふうに考えております。

今日はありがとうございました。

○行政部長 どうもありがとうございます。それでは最後に知事からお願いをいたします。

○知事 近藤区長に今締めくくっていただいたとおりでございます。これからも長期的なビジョンの策定ということもでございます。それぞれご意見やビジョンも参考にしながら、策定に向かっていきたいと考えております。

特に教育は百年の計でもあります。今、大きな節目にもございますので、しっかりとした体制で臨んでいきたいと考えております。

今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

○足立区長 ありがとうございました。

○行政部長 それでは以上で終了いたします。本日はご多用のところ、どうもありがとうございました。

○足立区長 ありがとうございました。